

日本鐵鋼協會記事

昭和25年度第9回理事會

日時：25—8—9（水）16時30分～19時 會場：協會々議室，出席者：（會長）田中清治（副會長）富山英太郎（理事）芥川武 岡本正三 佐々木吉備三郎（前會長）吉川晴十 三島徳七 山岡武（常務委員）菊池浩介 田畑新太郎 依 信次（主事）金谷三松。

報告事項

1. 學術會議會員資格審査經過概要。—第5部金屬部門 審査カード數 2,180 内合格カード數 1,550 不合格カード數 630 本會進達 豫備調査カード數 1,930 2. 昭和25年度第5回編集委員會報告。

日時：25—7—25（火）16時30分～20時。場所：協會々議室，出席者：（理事）芥川武君 岡本正三君（常務委員）菊池浩介君 依 信次君（編集委員）阿部信男君 内山道良君 佐藤忠雄君 濱本甲子生君 三橋鐵太郎君 安田洋一君 山木正義君 吉田道一君 吉崎鴻造君代，國安義明君（特別出席）石原善雄君（主事）金谷三松。報告（1）昭和25年6月號は6月28日竣成（双文社）發送スミ。（2）同7月號は7月29日竣成（双文社）8月1日發送スミ。（3）8月號は8月20日竣成の豫定（双文社）。（4）表彰者の寫眞は8月號に掲載の豫定。協議（1）米國鐵鋼業視察團報告は9月號に掲載の件決定。特輯號とし1950年米國鐵鋼業調査報告と名稱を定むること。（2）各編集委員の手許にある抄譯可能の外國雜誌調査の件（3）選定済の9月號原稿を10月分に廻はす件承認。（4）天然資源局堤英三郎君幹旋のペスレーム製鋼會社フィルム映寫の件—承認。東京附近維持會社及學校研究所へ宛通知のこと。（5）ステンレス、スチールに關する研究記事の件—決定。原文は鐵鋼連盟にて印刷の上要望者へ讀み意見の提出を求むること。

3. 第4回東京地方講演會 日時：25—7—8（土）9時～16時。會場：東大第一工學部第2號館大講堂。講演：米國鐵鋼視察談。（1）米國に於ける厩延潤滑について。殿村秀雄君。（2）米國に於ける製銑作業について。和田龜吉君。（3）米國に於ける製鋼作業について。富山英太郎君 以上午前，中食後。（4）南米に於ける製鐵鋼業について。内川悟君。（5）米國に於ける製鐵工場の管理について 岡本勇君。（6）印度鐵鋼業の現況。三井太信君（7）映畫。ウィヤート，スチール會社ティンプレート。G.H.Q經濟科學局所有。以上 出席者280名。

4. 二次製品研究部會 日時：25—7—9（日）9時～12時。會場：東大第一工學部第一號館第15號教室。講師 外島健吉君 委員長 松永陽之助君外45名出席。

5. 潤滑部會 日時：25—7—10（月）研究會。11（火）研究會。12（水）見學會。會場 10日、11日 東京第一工學部第1號館第15號教室 12日川崎、富士製鐵、川崎製鋼所。議事：第1日（7月10日）（1）起重機潤滑實體調査發表（各工場）。（2）潤滑實體調査（各工場發表）。（第2日（7月11日）（3）米國に於ける厩延機の潤滑について。殿村秀雄君。（4）前日に引續き潤滑實體調査（各工場發表）。（5）チルチングテーブル、ロールガンク潤滑實體報告（各工場）。（6）次回議題打合せ事項決定：a. 起重機の潤滑調査（具體的事項は委員會で決定連絡する）b. 厩延機油消費實體調査。c. 齒車に關する研究發表。d. 其の他潤滑に關する事、油質の問題等の調査改善等の報告。

次回の場所 八幡。時期 來年3月 且つ年2回とすること。

協議事項 1. 昭和25年度秋季第40回講演大會に關し打合せの件—承認。準備委員よりの申越し事項全部承認。2. 協會事務所 借室料約3倍に値上りに付き對策の件—尙ほ研究對策を講ずること。3. 鐵中の銅分驅除に關する件決定。最近に座談會を開き、方策を研究のこと。4. 八幡製鐵K.K.本社及び富士製鐵K.K.本社より編集委員各1名を派遣せられ度き件決定。山岡前會長に御依頼し交渉したいべくこと。5. 25—8—10午後3時より第5回東京地方講演會（映畫）實施の件承認。6. 八幡製鐵所製造標準試料仕入れに關する件決定。山岡前會長にお願いし先方へ便宜を與へ貰ふこと。7. 昭和25年7月分收支決算審議の件承認。8. 入退會及會員異動の件承認。